

楠本まき初の本格的な展覧会「線と言葉・楠本まきの仕事」展（京都国際マンガミュージアム）に連動した、その作品を多角的に読み解く書。



荒俣宏（京都国際マンガミュージアム館長、作家）、藪前知子（東京都現代美術館学芸員）らによる楠本作品の解析、三角みづ紀（詩人）のエッセイ、ブックデザイナー、編集者との対談、意匠を凝らした装幀についての楠本自身による解説、下絵、言葉の数々。一本の線から一つの言葉に至るまで、陳腐さに対する非寛容と細部へのこだわりが透徹します。



「線と言葉 楠本まきの仕事」

MAKI KUSUMOTO: LINES, WORDS, BETWEEN AND BEYOND

著者 楠本まき 装丁・デザイン：秋田和徳 刊行：Landschaft